株式会社帝国データバンク

奈良支店

住所:奈良市高天町 38-3 近鉄高天ビル 4F

電話:0742-26-3231

URL: https://www.tdb.co.jp

奈良県内企業メインバンク調査(2024年)

「南都銀行」がシェア 60.23%でトップ

~信用金庫2行が社数を増やす~

はじめに

人口減少や長く続いた超低金利で厳しい経営環境にあった金融機関は、政策金利の引き上げなどが契機となり業務収益が改善しつつある。一方で、割安な手数料や横断的な各種サービスで顧客囲い込みを図るネット銀行が台頭してきている。こうしたなか、過剰債務を抱えコロナ禍で疲弊した中小企業の経営を立て直すといった役割が地域金融機関に求められており、中小企業の「メインバンク」の選択にも変化が生じる可能性がある。

帝国データバンク奈良支店では、2024年10月末時点の企業概要ファイル「COSMOS2」に収録されている奈良県内の企業(13,400社)がメインバンクと認識している金融機関について抽出し、集計した。同調査は2024年2月に続き8回目。

本調査は「COSMOS2」に収録されている企業のデータであるため、各金融機関がメインとして取引している実数とは異なることがある。また、一企業に複数のメインがあるケースでは、企業が最上位として認識している金融機関を集計した。

調査結果 (要旨)

- 1. 奈良県内の企業がメインバンクと認識している金融機関のトップは、「南都銀行」でシェア 60.23%。「大和信金」がシェア 6.96%で2位、「奈良中央信金」がシェア 6.81%で3位と、信用 金庫勢が社数を伸ばした
- 2. 奈良県内の企業を主要7業種別にみると、全業種で「南都銀行」がトップ、「大和信金」が4業種で2位、「奈良中央信金」が2業種で2位となった。
- 3. 奈良県内の企業を売上高規模別でみると、全規模で「南都銀行」がトップ。「10~50億円」では「りそな銀行」が2位、「50億円以上」では「三菱UFJ銀行」が2位となった。

©TEIKOKU DATABANK, LTD.

TDB Business View: 奈良県内企業メインバンク調査 (2024年)

1. 県内ランキング ~「南都銀行」がシェア 60.23%~

奈良県内の企業がメインバンクとして認識している金融機関は、「南都銀行」(奈良市)が8,071 社(前年比2社減)、シェア60.23%(同0.55ポイント減)。前年比では社数、シェアともに微減

となったが、奈良県内で唯一の地方 銀行として2位以下に大きく差をつ けて存在感を示している。

2 位は、3 行ある地元信用金庫の 「大和信金」で 932 社 (前年比 26 社 増)、シェア 6.96% (同 0.14 ポイン ト増)、3 位は、「奈良中央信金」で 912 社 (前年比 38 社増)、シェア 6.81%(同 0.23 ポイント増)となり、 上位 3 行で 74.0% (同 0.18 ポイン ト減)のシェアを持っている。 次いで、「りそな銀行」「三菱UF J 銀行」のメガバンク2行が入り、6位 に地元の「奈良信金」がラインクイ ンしている。前年と比較して上位10 行の順位に変動はなかったが、「大和 信金」「奈良中央信金」以外では唯一、 「京都銀行」だけが前年比でシェア を拡大した。

奈良県メインバンクシェア上位30行

2024年

202	4年				
順位	取引銀行名	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	南都	8,071	▲ 2	60.23%	▲ 0.55
2	大和信金	932	+26	6.96%	+0.14
3	奈良中央信金	912	+38	6.81%	+0.23
4	りそな	622	+1	4.64%	▲ 0.04
5	三菱UFJ	534	▲ 11	3.99%	▲ 0.11
6	奈良信金	398	▲ 3	2.97%	▲ 0.05
7	三井住友	380	4 4	2.84%	▲ 0.05
8	奈良県農協	170	±0	1.27%	▲ 0.01
9	関西みらい	162	▲ 3	1.21%	▲ 0.03
10	京都	144	+13	1.07%	+0.08
11	みずほ	128	±0	0.96%	±0.00
12	紀陽	114	+2	0.85%	+0.01
13	ゆうちょ	84	±0	0.63%	±0.00
14	中京	82	▲ 8	0.61%	▲ 0.07
15	三十三	65	+1	0.49%	+0.01
16	商工中金	40	▲ 2	0.30%	▲ 0.02
17	大阪シティ信金	33	+2	0.25%	+0.02
18	近畿産業信組	32	+1	0.24%	+0.01
18	京都中央信金	32	+5	0.24%	+0.04
20	北伊勢上野信金	13	±0	0.10%	±0.00
21	楽天	12	+2	0.09%	+0.01
22	大阪信金	10	±0	0.07%	▲ 0.01
23	新宮信金	9	+1	0.07%	+0.01
23	池田泉州	9	+1	0.07%	+0.01
25	大阪商工信金	8	+2	0.06%	+0.01
26	百五	7	±0	0.05%	±0.00
27	住信SBIネット	6	+1	0.04%	±0.00
27	PayPay	6	±0	0.04%	▲ 0.01
29	日本政策金融公庫	5	+1	0.04%	+0.01
29	尼崎信金	5	▲ 2	0.04%	▲ 0.01
	- 				



TDB Business View: 奈良県内企業メインバンク調査 (2024年)

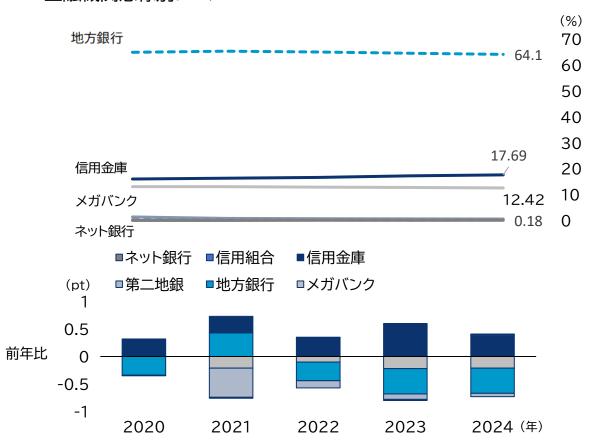
2. 「地方銀行」がシェア 64.1%と圧倒的ながら、「信用金庫」がシェア拡大

業態別にみると、シェアが最も高いのは「地方銀行」(シェア 64.1%)となり、前年から 0.46 ポイント減少したものの、圧倒的なシェアを誇る「南都銀行」が存在感を維持している。

「信用金庫」(同 17.69%) は 6 年連続でシェアが増加した一方で、「都市銀行 (メガバンク)」(同 12.42%) は前年比で 0.21 ポイント下げており、店舗の統廃合や減少の影響がみられる。

実店舗を持たず、インターネットバンキングなどオンラインでの金融事業を主力事業とする「ネット銀行(新形態の銀行)」では、シェア 0.18%と他業態に比べると少数であるが、徐々にシェアを伸ばしている。店舗における入金からインターネットバンキングなどによる入金に変化するなか、決済手数料や基本利用料の低さを背景に、ネット銀行に口座開設を進める企業が増えている。地域柄、農協も1.31%(前年比0.01ポイント減)と少数ながら一定数のシェアを維持している。

金融機関態様別シェア



TDB Business View: 奈良県内企業メインバンク調査 (2024年)

3. 業種別ランキング

主要8業種(「建設」「製造」「卸売」「小売」「運輸・通信」「不動産」「サービス」「その他」)別にみると、「南都銀行」が全業種でトップとなり、「建設」「サービス」では60%を超えたが、「不動産」「その他」では40%台となった。

「大和信金」は「運輸・通信」11.72%、「建設」8.39%、「小売」7.97%、「サービス」5.14%の4業種で2位となり、「奈良中央信金」は「製造」8.01%、「不動産」7.77%の2業種で2位、「三菱UFJ銀行」が「卸売」8.22%で2位となった。なお、「奈良県農協」が「その他」11.65%で2位となった。

前年と比較して、全業種において上位5行の順位に変動はなかったが、首位の「南都銀行」が5 業種(その他を除く)においてシェアを下げた一方で、「大和信金」が4業種、「奈良中央信金」が7業種、「奈良信金」が2業種でシェアを増やしている。

	建設業 2024年				
順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	南都	3,076	▲ 16	62.79%	▲ 0.56
2	大和信金	411	+13	8.39%	+0.24
3	奈良中央信金	382	+21	7.80%	+0.40
4	りそな	193	+1	3.94%	+0.01
5	奈良信金	166	+2	3.39%	+0.03
6	三菱UFJ	135	▲ 3	2.76%	▲ 0.07
7	三井住友	106	+1	2.16%	+0.01
8	奈良県農協	75	▲ 2	1.53%	▲ 0.05
9	関西みらい	62	±0	1.27%	±0.00
10	中京	37	▲ 2	0.76%	▲ 0.04

10	中京	37	<u> </u>	0.76%	▲ 0.04
	製造業 2024年				
順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	南都	816	▲ 14	57.34%	▲ 0.22
2	奈良中央信金	114	+1	8.01%	+0.17
3	りそな	98	+2	6.89%	+0.23
4	三菱UFJ	90	▲ 5	6.32%	▲ 0.27
5	大和信金	87	▲ 3	6.11%	▲ 0.13
6	三井住友	38	▲ 4	2.67%	▲ 0.24
7	奈良信金	34	+1	2.39%	+0.10
8	関西みらい	21	+1	1.48%	+0.09
8	京都	21	+3	1.48%	+0.23

	卸売業 2024年				
順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	南都	685	▲ 1	55.78%	▲ 0.82
2	三菱UFJ	101	+1	8.22%	▲ 0.03
3	奈良中央信金	87	+6	7.08%	+0.40
4	りそな	72	+1	5.86%	±0.00
5	大和信金	56	+1	4.56%	+0.02
6	三井住友	55	+2	4.48%	+0.11
7	みずほ	32	+1	2.61%	+0.05
8	奈良信金	29	±0	2.36%	▲ 0.03
9	京都	21	+3	1.71%	+0.22
10	関西みらい	18	▲ 1	1.47%	▲ 0.10

		小売業				
		2024年				
	順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
	1	南都	754	▲ 10	58.95%	+0.18
	2	大和信金	102	+4	7.97%	+0.43
	3	奈良中央信金	93	+2	7.27%	+0.27
	4	りそな	57	▲ 5	4.46%	▲ 0.31
	5	三菱UFJ	54	▲ 2	4.22%	▲ 0.09
	6	奈良信金	51	▲ 6	3.99%	▲ 0.39
	7	三井住友	42	▲ 2	3.28%	▲ 0.10
	8	紀陽	18	▲ 1	1.41%	▲ 0.05
	9	関西みらい	17	▲ 4	1.33%	▲ 0.29
©TEI	10	康都ATABAN	IK, LTÐ.	. ▲ 1	1.25%	▲ 0.06

	運輸・通信業 2024年				
順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	南都	196	▲ 1	53.41%	▲ 0.42
2	大和信金	43	±0	11.72%	▲ 0.03
3	奈良中央信金	41	+1	11.17%	+0.24
4	りそな	18	▲ 1	4.90%	▲ 0.29
5	三菱UFJ	14	+1	3.81%	+0.26
6	奈良信金	12	▲ 1	3.27%	▲ 0.28
7	三井住友	9	±0	2.45%	▲ 0.01
8	商工中金	8	▲ 1	2.18%	▲ 0.28
9	関西みらい	7	+1	1.91%	+0.27
10	京都	6	▲ 1	1.63%	▲ 0.28

	サービス業				
順位	2024年 金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	南都	2,103	+16	64.67%	▲ 1.23
2	大和信金	167	+9	5.14%	+0.15
3	りそな	131	±0	4.03%	▲ 0.11
4	奈良中央信金	127	+4	3.91%	+0.03
5	三菱UFJ	102	+1	3.14%	▲ 0.05
6	三井住友	88	▲ 1	2.71%	▲ 0.10
7	奈良信金	83	+1	2.55%	▲ 0.04
8	ゆうちょ	44	±0	1.35%	▲ 0.04
9	奈良県農協	39	+1	1.20%	±0.00
10	京都	34	+7	1.05%	+0.20

	不動産業 _2024年				
順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	南都	357	+28	47.86%	+1.52
2	奈良中央信金	58	+3	7.77%	+0.02
3	大和信金	57	+2	7.64%	▲ 0.11
4	りそな	50	+1	6.70%	▲ 0.20
5	三井住友	39	±0	5.23%	▲ 0.26
6	三菱UFJ	34	▲ 2	4.56%	▲ 0.51
7	奈良信金	21	±0	2.82%	▲ 0.14
8	関西みらい	17	+1	2.28%	+0.03
9	近畿産業信組	14	+1	1.88%	+0.05
10	= +=	11	+2	1.47%	+0.20

	その他 2024年				
順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	南都	84	A 4	40.78%	▲ 2.36
2	奈良県農協	24	+3	11.65%	+1.36
3	奈良中央信金	10	±0	4.85%	▲ 0.05
4	大和信金	9	±0	4.37%	▲ 0.04
5	三菱UFJ	4	▲ 2	1.94%	▲ 1.00
6	信金中央金庫	3	±0	1.46%	▲ 0.01
6	 = + =	3	±0	1.46%	▲ 0.01
6	楽天	3	+2	1.46%	+0.97
6	りそな	3	+2	1.46%	+0.97
6	三井住友	3	±0	1.46%	▲ 0.01



TDB Business View: 奈良県内企業メインバンク調査 (2024年)

4. 売上高規模別ランキング

売上高規模別にみると、「南都銀行」が全規模でシェアのトップとなり、「10億円未満」では 60% を超えている。「10億円未満」の 2位は信用金庫だが、「10~50億円」では「りそな銀行」が 2位、「50億円以上」では「三菱 UFJ 銀行」が 2位とメガバンクが上位に浮上した。

	売上高5000万 2024年	门未満		売上高5~10億円未満 2024年							
順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比	順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	南都	3,591	▲ 93	60.79%	▲ 0.45	1	南都	434	+14	60.28%	▲ 0.15
2	奈良中央信金	368	+19	6.23%	+0.43	2	大和信金	52	+6	7.22%	+0.60
3	大和信金	361	▲ 15	6.11%	▲ 0.14	3	奈良中央信金	49	+3	6.81%	+0.19
4	りそな	244	▲ 8	4.13%	▲ 0.06	4	りそな	36	▲ 1	5.00%	▲ 0.32
5	三菱UFJ	234	▲ 18	3.96%	▲ 0.23	5	奈良信金	24	▲ 2	3.33%	▲ 0.41
6	三井住友	189	▲ 3	3.20%	+0.01	6	三菱UFJ	22	▲ 2	3.06%	▲ 0.39
7	奈良信金	187	▲ 3	3.17%	+0.01	7	三井住友	20	▲ 1	2.78%	▲ 0.24
8	奈良県農協	116	▲ 1	1.96%	+0.02	8	京都	17	+3	2.36%	+0.35
9	関西みらい	79	±0	1.34%	+0.03	9	紀陽	10	+2	1.39%	+0.24
10	ゆうちょ	69	±0	1.17%	+0.02	10	みずほ	9	▲ 1	1.25%	▲ 0.19

	売上高5000万	円~1億円を	k満				売上高10~50	億円			
	2024年						2024年				ĺ
順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比	順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	南都	1,399	▲ 20	62.57%	▲ 1.81	1	南都	347	+8	55.70%	+0.13
2	大和信金	172	+20	7.69%	+0.79	2	りそな	58	▲ 1	9.31%	▲ 0.36
3	奈良中央信金	159	+12	7.11%	+0.44	3	大和信金	33	+1	5.30%	+0.05
4	三菱UFJ	100	+4	4.47%	+0.11	3	三菱UFJ	33	±0	5.30%	▲ 0.11
5	りそな	97	+4	4.34%	+0.12	5	三井住友	28	▲ 1	4.49%	▲ 0.26
6	奈良信金	60	+1	2.68%	±0.00	6	奈良中央信金	24	+3	3.85%	+0.41
7	三井住友	48	±0	2.15%	▲ 0.03	7	みずほ	15	+3	2.41%	+0.44
8	奈良県農協	28	+1	1.25%	+0.02	8	関西みらい	12	▲ 1	1.93%	▲ 0.20
9	関西みらい	21	+2	0.94%	+0.08	8	京都	12	+2	1.93%	+0.29
10	みずほ	18	±0	0.81%	▲ 0.01	10	奈良信金	11	+1	1.77%	+0.13

	売上高1~5億円]未満					売上高50億円」	以上			
	2024年						_2024年	<u>, </u>	<u> </u>		
順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比	順位	金融機関	社数	社数 前年比	シェア	シェア 前年比
1	南都	2,184	+81	60.15%	+0.41	1	南都	63	▲ 2	43.45%	▲ 1.69
2	奈良中央信金	298	±0	8.21%	▲ 0.26	2	三菱UFJ	13	±0	8.97%	▲ 0.06
3	大和信金	296	+10	8.15%	+0.02	3	りそな	12	+3	8.28%	+2.03
4	りそな	172	+3	4.74%	▲ 0.06	4	三井住友	9	±0	6.21%	▲ 0.04
5	三菱UFJ	129	+3	3.55%	▲ 0.03	5	みずほ	6	▲ 1	4.14%	▲ 0.72
6	奈良信金	112	+3	3.08%	▲ 0.02	6	大和信金	3	±0	2.07%	▲ 0.01
7	三井住友	82	±0	2.26%	▲ 0.07	7	商工中金	2	+1	1.38%	+0.69
8	京都	54	+3	1.49%	+0.04	7	奈良中央信金	2	±0	1.38%	▲ 0.01
9	関西みらい	42	A 5	1.16%	▲ 0.18	7	奈良信金	2	±0	1.38%	▲ 0.01
10	紀陽	34	±0	0.94%	▲ 0.03	7	信金中央金庫	2	±0	1.38%	▲ 0.01

TDB Business View: 奈良県内企業メインバンク調査 (2024年)

まとめ

日本銀行が今年3月にマイナス金利の解除を表明して以降、金融機関では利上げの交渉を進める動きが活発化している。長期にわたって続いた低金利・ゼロ金利の経営環境から「金利のある世界」への移行が進んでおり、金利の上昇が企業の収益圧迫につながることが想定されるなか、貸出金利の引き上げによっては今後のメインバンク選択に影響を与える可能性がある。

奈良県下のメインバンクは、「南都銀行」が 60%のシェアを持ち、トップを維持している。売上高規模別では、全ての規模で首位を維持し、「5,000 万円未満」「5,000 万円~1 億円」「 $1\sim5$ 億円未満」「 $5\sim10$ 億円」では 60%以上のシェアを維持するも、「 $10\sim50$ 億円」では 55.70%、「50 億円以上」では 43.45%とシェアが下がり、「9とな銀行」「三菱UFJ銀行」「三井住友銀行」「みずほ銀行」といったメガバンクのランクが上がってくるなど、県内には小規模事業者が多い事も要因の 1 つと考えられる。

信用金庫の取引社数の伸びは、ゼロゼロ融資の元本返済が本格化するなか、信用金庫が地元密着の利を生かしてメインバンクとなる機会の増加を生んでいる。そのなかで、これまでの担保の主流であった経営者保証や不動産担保などに代わって、2024年6月に公布された「事業性融資の推進等に関する法律」にある「企業価値担保権」がスタートすれば、金融機関の選定ポイントはさらに変わる可能性がある。これは、ノウハウや顧客基盤などの無形資産も担保価値として評価され、事業全体の将来性に対して融資を実行することから、金融機関の目利き力が重要となり、メインバンクとしての役割がさらに求められるようになるだろう。

【内容に関する問い合わせ先】 株式会社帝国データバンク奈良支店 担当:近藤穣治

TEL 0742-26-3231 FAX 0742-27-5337

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。